

議会ウォッチ

8月号
2020



ココに注目!

コロナ対策事業《議会トピックス》 P2

ここが聞きたい!《一般質問》 P7

議会活動報告 P16

新型コロナウイルス 対策支援事業

国の施策ではカバーしきれない地域の実情に応じた取り組みの財源で、国の施策と組み合わせるもの

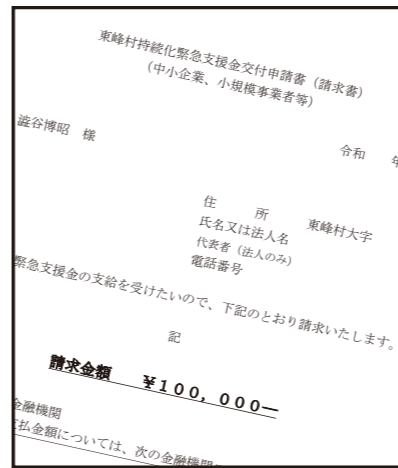
持続化給付金

感染拡大により、村内に事業所を有する中小企業及び小規模事業者等、大きな影響を受けている事業者に対して、事業継続のための支援金です。

支援金額

- 《国》 法人 200万円
個人事業者 100万円
 - 《村》 村内事業者 10万円
- 国または県の持続化緊急支援金の給付に該当した者。

- 給付対象者**
- ①ひと月の売り上げが前年同月比で50%以上減少している事業者。
 - ②2019年以前からの事業者で、今後も事業を継続する事業者。



2020 プレミアム付き商品券助成事業

新型コロナウイルス感染症対策は、地域内消費を喚起し商店街をはじめ地域経済の活性化を図ることを目的とし、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が、国から交付されることに伴い実施した。

補助率
 今度のプレミアム率については、コロナの影響もあり特別に30%（県10%村20%）の補助率となります。

申込限度
 一人10万円まで（同居の家族分はまとめて申込み可）

申込方法
 往復はがきに必要事項を記載し郵送または持参。
 (TEL、FAX、メールでの申し込みは不可)

購入対象外
 換金性の高いもの(商品券、ビール券、図書券、切手、印紙、プリペイドカード等)
 国や地方公共団体への支払い、公共料金支払い、税金の納付等

第2次感染症対応 地方創生臨時交付金事業

《東峰村独自支援事業》
 総額1億4616万5千円

- ① 農業者支援(法人・個人)種子代・資材代(80%補助) 上限あり) 水稲収穫支援助成金(経費の5割助成)
 - ② 主な収入が事業収入の事業者に対し、特別定額給付費及び持続化補助金
 - ③ 2020プレミアム商品券助成(プレミアム率30%)
 - ④ 移動スーパー等による地域の生活支援事業
 - ⑤ 不特定多数利用者公共空間安全・安心確保事業(消毒液・体温計・フェイスシールド等)
 - ⑥ 高齢者健康増進事業(旧宝珠山小学校運動場整備)
 - ⑦ 密集を避けるためのバスの増車(スクールバス)
 - ⑧ 東峰学園ICT教育充実のための支援
 - ⑨ 子育て応援事業(0才〜18才)10,000円(クオカード) × 260人
- 以上21項目のうち抜粋



体温計・フェイスシールド

東峰村の自然に育まれた棚田米や農産物(小石原産・高取産)をお得に手にするチャンスです

東峰村いいね! 30%プレミアム付き商品券

販売総額 5,000万円
 令和2年7月15日申込受付開始

【第1次予約販売 申込受付期間】
 令和2年7月15日(水)~8月2日(日)
(申込 無料)

【第2次対面販売】
 令和2年8月8日(土)~令和3年1月31日(日)
(販売 無料)

※購入限度額 お一人様100,000円まで。

1冊あたり3,000円お得!!!
 プレミアム率30%

使用期間
 令和2年8月8日(土)~令和3年1月31日(日)

販売価格 1冊 10,000円(1,000円券13枚付き)

【購入ご応募方法】
 往復はがきに必要事項をご記入の上、郵送もしくは持参ください。
 記入書は、東峰村農工会ホームページ <https://www.tohovsai.com/>
 ※応募はがき(書封)をお持ちでない方は、必要事項をご記入の上、複製はがきにてご応募ください。

【発行元】東峰村農工会 ☎0946-74-2121 住所:東峰村東峰町小石原 347-1

東峰村いいね! 30%プレミアム付き商品券

¥1,000

【有効期限】
 令和2年8月8日(土)~令和3年1月31日(日)

複写

発行者: 東峰村農工会

東峰村いいね!
30%プレミアム商品券

【有効期限】下記期間を過ぎてのご利用はできません。
 令和2年8月8日(土)~
令和3年1月31日(日)

取扱加盟店

ご使用上の注意事項
 ○本券は、東峰村内の本券取扱店でのみ使用できます。
 ○本券の交換、売買はできません。
 ○本券使用時のつり銭は支払いません。
 ○本券に有効、無効の印は押印されません。
 ○本券の破損、盗難、紛失等に対し発行者は責任を負いません。
 ○本券は、取扱加盟店の商品、サービス等を対象とします。ただし、次のものは対象外です。
 ①換金性の高いもの(商品券、ビール券、図書券、切手、プリペイドカード等)
 ②金券、金券、印紙、印紙等の金融商品
 ③国や地方公共団体への支払い、公共料金支払い、税金
 ④またはこの事業法第36条第1項にて小定額以外販売品
 ⑤医療機関の保険診療
 ※事業用資産・建造物のリフォーム・自動車・不動産などの用、取扱店が特に指定するもの

(お問合せ先)
 東峰村農工会 ☎0946-74-2121
 取扱加盟店 ☎0946-74-2284

委員会委員紹介

5月26日の臨時会及び6月16日の定例会にて、新たな委員会構成となりました。
主な役職、委員構成を紹介します。任期は令和4年4月30日。



議会運営委員会

(本会議の会期日程等議会運営に関する事項)



総務常任委員会

(所管する課は、総務課、住民税務課、保健福祉課、教育課)



議会広報特別委員会

(議会広報の編集及び発行に関する事項)



産業建設常任委員会

(所管する課は、企画政策課、農林観光課、建設水道課)

ここが聞きたい!

一般質問

令和2年東峰村議会第5回(6月)定例会 一般質問

質問順	議員名	質疑事項(色付きは記載事項)
1	黒川 隆康	高齢者の交通対策について……………P8
		豪雨時等による避難所でのコロナ対策について…P8
2	泉 守	農業倉庫について
		道の駅第二駐車場(ランプの森)について……………P9
3	梶原 伯夫	今後村の交通体系について……………P10
		小石原道の駅横の販売所について……………P10
		学校でのコロナ対策について……………P10
		これからの教育長としての抱負について
4	大蔵 久徳	商工業の振興について……………P11
		防災について
		高齢者福祉について
		移住施策について
		東峰学園の運営について
5	長澤 貞義	JR日田彦山線について……………P12
6	高倉 寛視	JR日田彦山線問題について……………P13
		新型コロナウイルス関連助成金について……………P13
7	高橋 弘展	JR日田彦山線復旧について……………P14
		新型コロナウイルス対策について……………P14

一般質問とは・・・

議員が、村の行財政全般にわたって執行機関に疑問点を投げかけ、自治体としての考えを求めるものです。1年に4回ある定例会にて行うことができ、質問と答弁を合わせて1人60分の時間制限の中で行われます。また、東峰村議会では事前に質問の概要を提出し、議会開会前に執行部は答弁の準備を行います。

第3回臨時会(5月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
補正予算	可決	令和2年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	令和2年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分	承認	専決処分の承認を求めることについて(東峰村税条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認	専決処分の承認を求めることについて(東峰村国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認	専決処分の承認を求めることについて(東峰村国民健康保険条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	可決	新型コロナウイルス対策としての村独自の生活給付・休業補償・商工振興施策等を求める決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第4回臨時会(5月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
提案	可決	令和2年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分	承認	専決処分の承認を求めることについて(東峰村税条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認	専決処分の承認を求めることについて(農地・農業用施設災害復旧工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	同意	東峰村教育委員会教育長の任命について(縄田淳一氏)	○	○	●	●	●	○	○	○	○
	同意	東峰村教育委員会委員の任命について(片岡和子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	可決	東峰村古民家宿泊施設の指定管理者の指定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○
	可決	東峰村棚田レストラン・農産加工施設の指定管理者の指定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○

第5回定例会(6月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
提案	可決	令和2年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	同意	東峰村固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について(3名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	東峰村農業委員会委員の任命について(11名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度東峰村度簡易水道事業特別会計歳入歳出補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	報告	令和元年度東峰村繰越明許費繰越計算書報告について	報告議案のため採決は行いません								
	報告	令和元年度東峰村事故繰越し繰越計算書報告について	報告議案のため採決は行いません								

第6回臨時会(7月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
契約	可決	工事請負契約の締結について(東峰村水源の森交流館)	○	○	○	○	○	○	○	○	-



黒川隆康 議員

交通体系の現状と今後の対応は

— 村長 利便性の良い地域交通の確立を目指す

議員 高齢者の交通対策の一つとして、タクシー券の発行等に対応しているが、村全体の交通体系について検討しなければならぬと考える。総務常任委員会においては、今後、調査研究会をしていく事とした。村としての現状の把握と、今後の対策を伺う。



JR代行バス

村長 平成22年12月に東峰村地域交通検討委員会より提言書を受け、平成23年度、東峰村地域公共交通協議会において検討し、平成26年度より外出支援タクシ

ー助成事業を実施している。高齢者の交通対策及び地域全体の交通対策については、通院、通学、買い物など地域内交通について協議を重ね、しっかりと取り組んで行く。住民の方にとって利便性の良い地域交通を確立していきたいと考えている。

議員の想い

地域交通の確立が必要



泉守 議員

農業倉庫管理は全体に報告したのか

— 村長 前会長には全体会等で説明させたい

議員 農業用倉庫に関する要望書が平成29年4月に14名の方の連名で提出されています。この時の会長さんにお聞きしたことです。建設については異存はないが、建設後の管理はどのようにされるのか。管理運営問題を検討することが必要だ。この問題が解決してこそ稼働が可能である」と言われている。その後、会長の交代があったものの前会長には何の報告もなかったという事です。ご本人は「交代については異論はないが、次にどのような形になるのかという事だけは知りたかった」とおっしゃっています。前会長には交代時に説明があつてしかるべきだと考えるが村長の考えを伺う。

村長 農業倉庫は小石原ダムの水特法により建設。建設にあたっては小石原地区の農業者組織により協議され決定されたものと伺っている。会長交代の経緯等については把握していないので、構成員である企画課長に答弁させる。



農業倉庫



避難所におけるコロナ対策

議員 避難所において避難所における3密が心配されるがその対策として、避難者数の制限が必要ではないかと考えるが、その対応を伺う。

村長 防災マップにおいて安全である所、または、知人や親せき等安全に身を寄せる場所があれば、指定避難場所に非難しなくてもよい。また、警戒レベル3の時に開設していた3か所の指定緊急避難場所、村民センターを追加し4か所とした。警戒レベル4が発令された時は東峰学園の武道場を使用するとともに、教育長、学校と協議し、必要に応じて各教室も開放できるように取り組む。

企画政策課長 平成28年9月より会合を重ねていく中で会長が交代し、新たな会長、役員で協議を行った。前会長には話が出ていない状況なので、大字小石原地区全体の農業の管理組合を立ち上げ、今月中にも会合を開く計画を進めている。その中で、前会長には説明したいと考えている。

役員 役場駐車場のコンテナについて、5月15日設置者と協議し、同意を得ており、準備が出来次第、撤去するという事は伺っている。

議員 役場駐車場にあるコンテナについては、どのようにされるのか伺う。

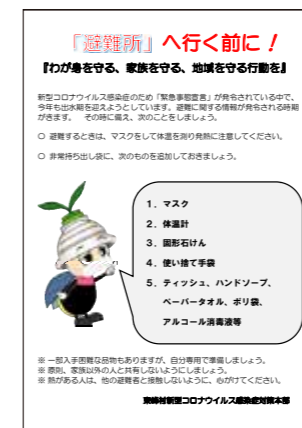
村長 庁舎管理規則にのっとり貸し付けを行っており、今年の3月31日までが契約期間となっている。未だに撤去されていないので5月12日に撤去についての通知を行い、5月15日設置者と協議し、同意を得ており、準備が出来次第、撤去するという事は伺っている。

議員の想い

行政は責任を持って解決を



役場駐車場のコンテナ



避難行動チャリシ

議員 高齢者福祉施設（宝珠の郷）が避難所に指定されているが高齢者が感染すれば重篤になり易いことが指摘されている。施設での受け入れは可能なのか。また、施設側と協議はされているのか。

村長 施設にはお願いをしている。対策としては、受付での検温等を実施するとともに、村の備蓄の段ボールの間仕切り板を活用する。また、できるだけ分散した避難を検討する。



村の交通体系についてどう考えるか — 村長 より良い方法で早く検討したい

議員 日田彦山線問題が一段落した今、村民のより良い足の確保はどうするか。

村長 通院や買い物難民問題の解決等を含め、通学、通勤等の方々の、より良い、そして喜ばれ受け入れてもらえる、便利で利用しやすい交通体系について考える必要がある。喫緊の問題と考えているし、総務常任委員会の中でも検討がなされているので、執行部の方でも委員会等を立ち上げて、早い時期に検討を行っていく。

役場駐車場のコンテナについて

議員 小石原庁舎駐車場の、トリーラーについてはどうなっているのか。

村長 店舗にしている方の使用料が7ヶ月ほど遅れていたが、5月



役場駐車場のコンテナ

末に6月分までは入った、5月12日に契約解除の予告と、コンテナの撤去についての通知を出している。5月15日に同意を得ているので早く撤去をして欲しいと願っている。

議員 借りる時についてきた村民に頼んで早く解決できないか。

村長 同席をしていた議員には、事情の説明等は行っている。

学校でのコロナ対策について

議員 学校でコロナ対策を行っていく上での問題はなかったか。

教育長 基本的には文部科学省のガイドライン、県教委、教育事務所等の指示に従ってきた。消毒等を教職員でやる上で、人材が不足していたので今後確保していきたい。

議員 とうほうテレビの活用はどうしていくのか。

教育長 教職員等で作っているとほうチャンネルを見て、大変良いものだと思っている。ギガスクール構想等や公民館活動、学校と地域をつなぐツール、村民同士をつなぐツール等に活用していきたい。



学校でのコロナ対策

※ギガスクール構想とは・・・簡単に言えば、すべての人々にとって価値ある世界的な価値を生み出すような教育をする。その手段に、ICT(情報での交流をする技術)を使う



コロナ禍での商工業者への支援は — 村長 予算を計上して支援していく

議員 コロナで大打撃を受けた商工業者に国、県、村からの持続化給付金以外の支援策は何か。

村長 国県の持続化給付金や雇用調整助成金等の申請に対する支援を商工会に行っている。また、緊急融資を受けた事業者へ利子補填制度を創設し、予算計上していきたい。

村長 組合のほうからトキコ

ーディネーター事業への早急な取り組みを行ってほしいとの要望が上がっている。先日この事業の委託業者の選定を行い、早速業務に着手しており、委員会等を開催し、村、担当課がどんなサポートをすればよいか調査する。

議員 今後、陶器組合の振興はどう考えているのか。

村長 村の持続化給付事業を行っているが、今後状況を見ながら支給範囲の拡大等は考えていきたい



商工会

議員 伝産館の経営がコロナの影響で非常に悪化していると聞いたが、今後支援していくのか。

村長 伝産館は組合費や陶芸体験事業等の収益が大きくて、春の民陶祭の中止や学校の休校等に伴う体験事業等の中止により経営状況は悪化していると聞いております。このようなことから、伝産館をはじめとする村の観光施設については、現状または今後の状況を踏まえて対応を検討する。

議員 4月に商工会から要望書が提出されたがその後の対応はどうなっているのか。

村長 商工会から大きく分けて3点の要望があると理解している。1点目が廃業・倒産を防止する緊急対策については、持続化給付金と利子補填を考えている。2点目の感染終了後の地域経済策については、2割のプレミアム付き商品券の発行に対して助成

議員の想い
村民の足の確保を早くして欲しい

議員の想い
給付拡大をスピード感をもって

を行う。
3点目の商工会体制の強化については、国、県に対して給付金助成金の申請の支援を行っている。また、コロナ感染症対策については、事業者の皆さんを積極的に支援していきたい。



長澤 貞義 議員

鉄道を残す戦略はなかったのか ——村長 災害後復旧をするのが当然だ

議員 福島県の只見線は毎年の維持運営の金額2億1千万を、福島県が70%、沿線自治体が7市町村29%、周辺自治体が1%の負担で復旧までに6年かかったが、上下分離方式で復旧が出来ている。福岡県では沿線自治体を含んだ全体会議もなかっただろうし、復旧会議で知事と話をしたのか。

村長 復旧会議は5回あり、知事も東峰村へ一度来たが、鉄道復旧の話ではなく災害応急仮設住宅の視察がメインだった。復旧会議では、大分県の広瀬知事が主導権を持って発言をしていた。

議員 福島県の人口が183万人、福岡県が511万人、沿線自治体でも北九州市が93万人、福島県の沿線自治体が一番多いのが会津若松市の12万人弱で、圧倒的に福岡県が多いのに、JR九州の負担提案と県の災害復旧対策が行われないのに鉄道での復旧は出来ると思っていたのか。

村長 福岡県知事も当初は「鉄道での復旧だ、BRTなんてあり得ない」と言う発言だった。栗原県議会議長や、県議会の各派の応援をいただいたが残念ながら、鉄道での復旧は出来なかった。



高倉 寛視 議員

本当にBRTでいいのか ——村長 住民説明会で意見を聞く

議員 村長や知事の報告では、BRTしか考えていないようだが、本当にそれでいいのか。誰がBRTでいいと言ったのか。

村長 県知事は鉄道での復旧は断念という明言があり、鉄道での復旧、JRの提案を覆すのは困難と考え決断をした。

議員 BRTを本当に村民の方が望んでいるのか、鉄道でなければ、代行バスではないのか。
村長 住民の方にとってより良いものを、作り上げていく必要がある。

議員 5月26日の報告会でも、BRTに賛成という方はいなかったようだが、村民の方がBRT以外の、選択を望んだら別な道を選ぶのか。

村長 BRT以外のことを、望んでいる方がどれくらいいるかは掴んでいない。

議員 貴方は長い間、鉄道での復旧以外は考えていないと、事あるごとに発言してきた。東峰村単独で、お金を出してでも鉄道だと言っていた。鉄道が頓挫した今、そういった発言の責任は考えていないのか。

村長 村民にとって、良いものにしていくというのが、私が取る責任だと思つて。

議員 貴方は首長として2年半ほど、鉄道だと言い通して新聞やマスコミで大騒ぎをし、村民を巻き込んで決起大会までもやって、結局はできなかつたこと

議員 県知事の説明会で村民からBRT方式を容認すると言う声が出たのか。

村長 説明会で村民の3、4名の方が質問したが、すべての方が鉄道での復旧でありBRT容認論は出ていない。

議員 福岡県が福島県のような対策が出来ないのならば、鉄道だけは残す戦略を考えるべきではなかったのか。

運行を求めず観光に特化した路線であれば村の祭りの時に臨時列車や、ななつ星等の観光列車を走らせることも出来るのではないのか。

の責任を取って、辞任する考えはないか。

村長 現時点では辞任の考えは、持っていない。

議員 竹地区まで代行バスを走らせた方が村民に対する利便性はあると思つて。住民説明会で意見を聞いて、住民の意見を尊重して、今後の運営にあたっていただきたい。
村長 住民の意見を尊重しながら、村政運営に活かしていきたい。



JR代行バス

村長 青柳社長が民営化の時に国会で答弁したのは、鉄道ネットワークを守り被災した路線は復旧すると述べている。村としては、「災害復旧だから元通りにするのが当然だ。」と思つていた。



JR 日田英彦山線

議員の想い
福島県の只見線は復旧出来たのに

新型コロナ対策について

議員 村内の事業者の方々は、29年災害よりも大きな影響を受けていると思われる。特に村の最大観光産業の、陶器組合は春の「民陶祭」を中止せざるを得なくなり、大きな被害となっている。今こそ不要不急の事業を見直して、支援していくべきではないか。
村長 具体的に申し上げられない。村としてはしっかり対応していく。

議員の想い
村民の意見を もっと聞こう

古民家ヴィラ 「あんたげ」オープン



この古民家は、総事業費8千7百万円で、「地方創生拠点整備交付金事業」で建設しています。「高齢化・後継者不足の中で、棚田を含めた地域景観の保全棚田を守るための活動」を継続して行う組織づくりと、地域が自走する仕組みづくり」を目的としています。

県天然記念物指定の岩屋を正面に望む、「竹棚田」は、日本棚田百選に選定され美しい日本の原風景が観られる場所です。

その棚田を見渡せる築132年の古民家を改装し、1日1組限定のヴィラが誕生しました。クラシックモダンな雰囲気の中で、地元食材をふんだんに使った田舎料理提供しています。



里山カフェ 棚田屋

■里山カフェ 棚田屋
『里山カフェ 棚田屋』もオープンしました。

このカフェは、事業費3千8百万円で建設され、運営は『古民家ヴィラ あんたげ』と同じく一般社団法人「竹棚田」によって運営されます。「竹棚田」の棚田米や地元食材を使った軽食を提供する里山カフェです。



高橋弘展 議員

BRT延伸案は村民に寄り添ったか

— 村長 知事説明会でもBRTは一人もいなかった

議員 村民に寄り添わなかった知事がBRT延伸案を出してきたのはなぜか。知事は、いつ村民に寄り添ってこの案を出したのか。

村長 知事は被災した住民に寄り添う県政を、実行に移されていないと思う。そういった中で、地元選出の栗原議長が県議会に働きかけていただいた。最終的には知事が考えたのかわからないが、BRTを宝珠山駅まで延伸する形で知事は提案された、私は理解している。住民の想いについては、知事の住民説明会でもBRTでいいという方は一人もいなかった。

新型コロナウイルス対策について

・小規模事業者持続化補助金について

議員 コロナ禍においてネット販売に取り組む事業者も出てきた。村版の持続化補助金を創設し、新たな取り組みを行う事業者を後押しすべきでは。

村長 村が対応するにしても、非常に小さな金額になるという懸念がある。公平公正の問題から難しい。

融資に対する利子補給について

議員 利子補給はどのような形で行うのか。

村長 何%にするかは検討したい。

副村長 国からの臨時交付金で、4、5年目に発生する利子分を今年度事業として一括給付できないか検討している。

・ポーン太の森キャンプ場について

議員 ポーン太の森キャンプ場の指定管理業者に対し、休業時の固定経費を村が支払うとのことだが、他の指定管理業者からも請求が出た場合は支払うのか。

農林観光課長 村の指定管理施設については考え方として同じような形となる。運営状況を把握し、必要性であれば、課内で検討する。

議員 村の持続化給付金の枠拡大や、村版の持続化補助金を創設することで、ポーン太の森だけでなく他事業者も救われる制度を検討すべきでは。

副村長 村の持続化給付金は当初15%以上売上減の考えもあったが、どこかで括らないといけない。そうなると自粛の協力金として、一律に給付する考えも出てくるので、検討する。



県知事説明会

議員の想い
村民不在のBRT延伸案ではないのか？



県議会へ要望書提出

JR日田彦山線問題に関する活動

- 懸案であったJR日田彦山線復旧に関して、方向性が見えてきた中での活動報告を行います。
- 活動内容は以下の通りです。
- 2月12日 復旧会議(日田市)傍聴
- 3月4・5日 県議会傍聴(予算特別委員会)
- 3月8日 県議会(自立を考える会)現地視察
- 3月16・17日 県議会傍聴(予算特別委員会) 自民県議団独自4案提示
- 3月25日 県議会傍聴(空転)知事復旧方式の結論先延ばし
- 3月26日 県議会傍聴(予算特別委員会)
- 3月27日 県議会本会議傍聴・地域振興基金創設を求める決議可決
- 4月21日 九州の自立を考える会と宝珠山駅舎にて意見交換
- 5月2日 九州の自立を考える会蔵内・松本・中尾・栗原(県議)と村長、議会代表、求める会と意見交換
- 5月16日 小川知事BRT案伝達のため来村
- 5月24日 知事からの村民への説明会
- 5月27日 県議会へ振興策の要望書提出
- 6月1日 小川知事へ振興策の要望書提出
- 7月16日 復旧会議(福岡市)傍聴 復旧方針決定

編集後記

残暑お見舞い 申し上げます
 本年も出水期における豪雨災害で被災された方々にお見舞い申し上げます。
 また、日田彦山線早期復旧問題や新型コロナウイルス感染症等、様々な問題の連続でした。

感染症については、一日も早い終息を願うものです。
 さて、今回より広報委員が新しく編成されました。不慣れではありますが、解りやすい紙面づくりに取り組む覚悟ですので、よろしくお願いいたします。

(泉 守)

議長	佐々木 紀嘉
発行責任者	梶原 伯夫
議員	梶原 光春
委員	梶原 泉 守
副委員長	黒川 隆康
委員	伊藤 均
委員	伊藤 均
委員	伊藤 均